

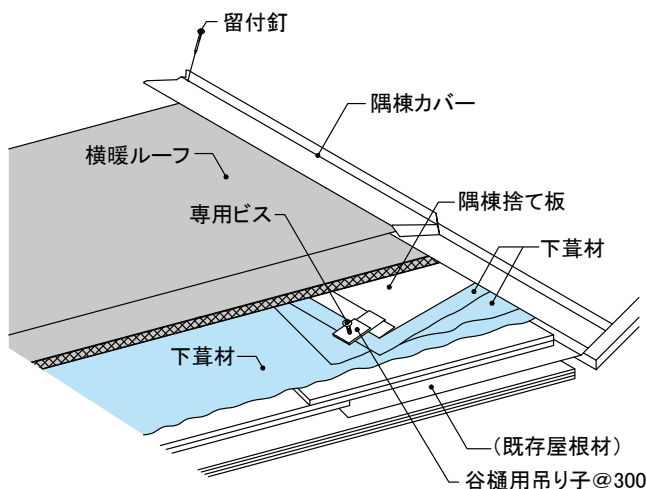
横暖ルーフ

工法	既存屋根材
重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

6) 隅棟部

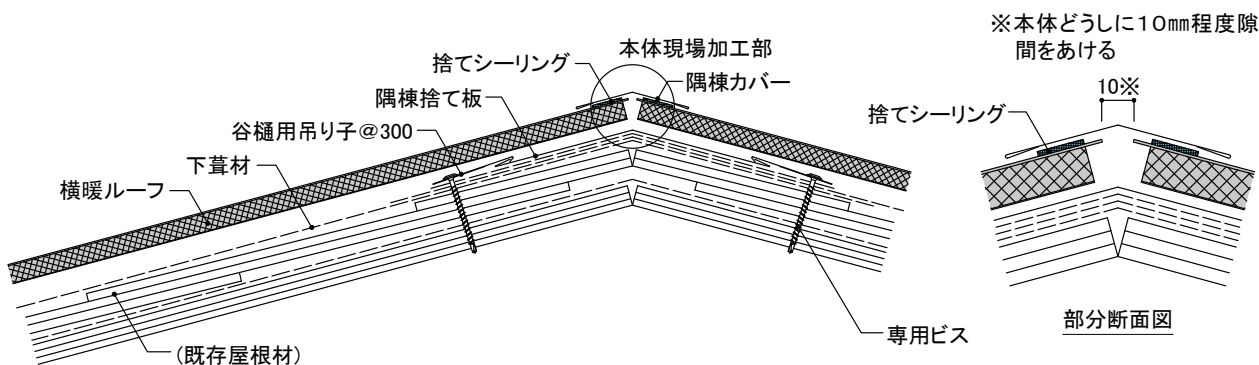
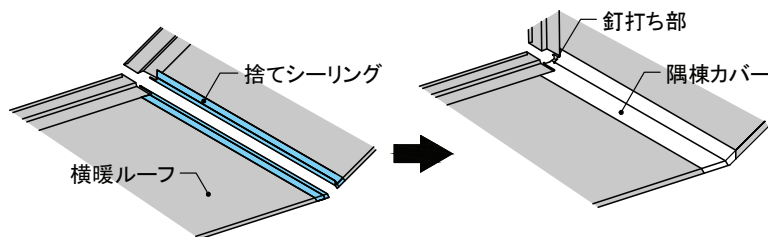
② 隅棟カバー（隅棟カバー急勾配用）

- 既存屋根材に、下葦材を張ります。
- 隅棟捨て板は隅棟部に谷樋用吊り子を使用し留め付けます。谷樋用吊り子は300mm以下の間隔で配置し、専用ビス（ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm）で留め付けます。隅棟捨て板を避けて、図のように加工した横暖ルーフ本体を施工します。
- 横暖ルーフ本体の切断部から約10mm程度の幅でシーリングを施工します。
- 隅棟カバーは横暖ルーフ本体の接合部へ差し込み、釘留めします。
- 屋根の勾配が2寸5分勾配以上3寸5分勾配未満は隅棟カバーを使用し、3寸5分勾配以上5寸勾配未満は隅棟カバー急勾配用を使用します。



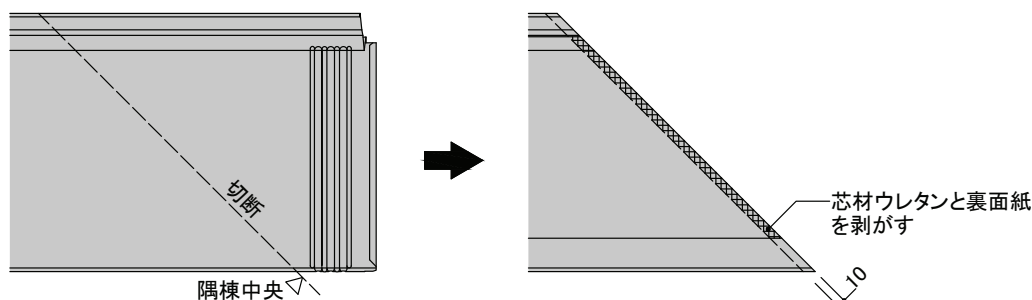
■ 隅棟カバーの取り付け

- ① 本体切断部から10mm程度に捨てシーリングを施工します。
- ② 隅棟カバーを取り付け、釘打ち部を長さ32mm以上のステンレスクリュー釘で固定します。



■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体の隅棟部分は、図のように加工します。



- ① 隅棟中央の位置で切断します。

- ② 端部から10mmの位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。
※ 折り曲げ部の詳細は、施工ポイント・現場加工図 (P168) を参考にしてください。